



2020年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社 **アイチ** コーポレーション

2019年 11 月 6日 (水)

I. 会社概要

II. 決算

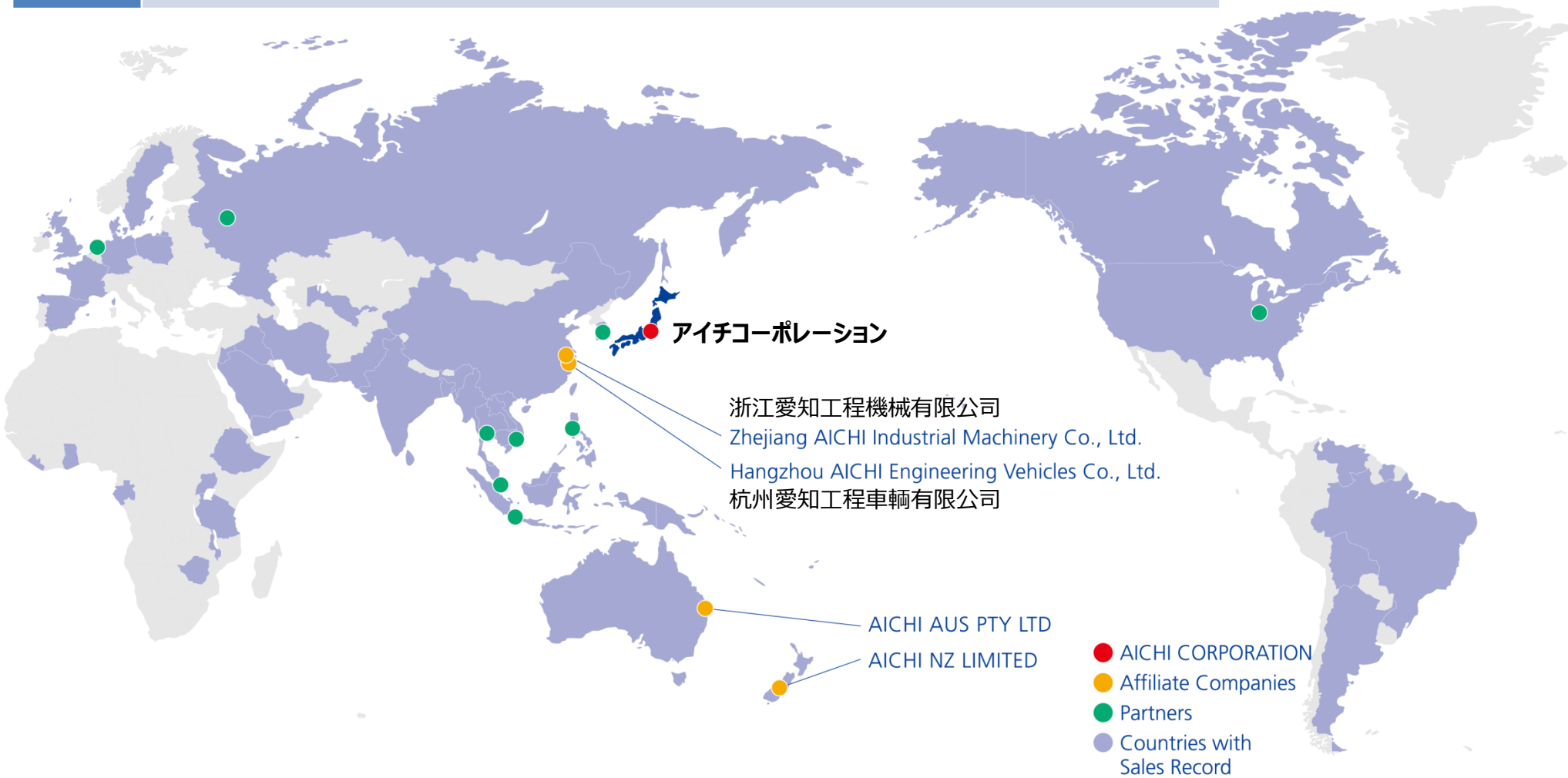
1. 19年度第2四半期の業績
2. 19年度の業績見通し

III. 中期経営計画

1. めざす姿
2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

- 【創立】** 1962年2月2日
- 【代表者】** 代表取締役社長 三浦 治
- 【本社】** 埼玉県上尾市大字領家字山下1152番地の10
- 【支店】** 6支店（宮城県、埼玉県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県）
- 【工場】** 4工場（国内2工場、海外2工場）
- 【事業内容】** 電力・電気・電話・通信工事用機械化車両、及び
建設・荷役・造船・鉄道用等工事用機械化車両の製造・販売
- 【資本金】** 10,425百万円
- 【株式】** 発行済 79百万株、株主数 8,425人（2019年9月末）
- 【大株主】** 株式会社豊田自動織機（52%）
- 【売上高】** 61,838百万円（18年度）
- 【従業員数】** 連結 1,137人 単独 1,026人（2019年9月末）
- 【関係会社】** 子会社3社、関連会社1社

開発	本社（埼玉県上尾市）
生産	日本：新治工場、伊勢崎工場 中国：浙江愛知工程機械有限公司、杭州愛知工程車輛有限公司



トラックマウント式

電力業界向け

通信業界向け

レンタル業界向け

SH15C
活線作業タイプ



KU10A
ケーブル総合工事車



SH10C



SJ30A



SK12C



SF77B
橋梁点検作業車



TZ10C

小型自走式

自走式

軌陸車

SSL

レンタル業界向け

造船業界向け

鉄道業界向け



RM05C
パーティカル
タイプ



SV06E
シザース
タイプ



SR12C
ブーム自走 (クローラ)



SP21C
ブーム自走 (ホイール)



LZ10K
軌陸両用高所作業車



5SDK
スキッドステアローダー

◇新治工場 (群馬県利根郡みなかみ町)



設立 : 1985年
内容 : トラックマウント式・自走式の組立・部品加工
敷地面積 : 17.2万㎡ 従業員 : 約280名 (2019年9月末)

◇伊勢崎工場 (群馬県伊勢崎市)



設立 : 1978年
内容 : 小型自走式の組立・部品加工
敷地面積 : 3.3万㎡ 従業員 : 約100名 (2019年9月末)

◇ 浙江愛知工程機械有限公司 (中国浙江省杭州市)



設立 : 2008年
資本金 : 1,500万USD (当社100%出資)
内容 : 小型自走式高所作業車の生産、販売、サービス
敷地面積 : 5万㎡ 従業員 : 約110名 (2019年9月末)

◇ 杭州愛知工程車輛有限公司 (中国浙江省杭州市)



設立 : 1995年
資本金 : 1,000万USD (当社 50%出資)
内容 : トラックマウント式高所作業車の設計、生産、販売、サービス
敷地面積 : 3.2万㎡ 従業員 : 約200名 (2019年9月末)

I. 会社概要

II. 決算

1. 19年度第2四半期の業績

2. 19年度の業績見通し

III. 中期経営計画

1. めざす姿

2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

19年度第2四半期の業績



(単位：億円)

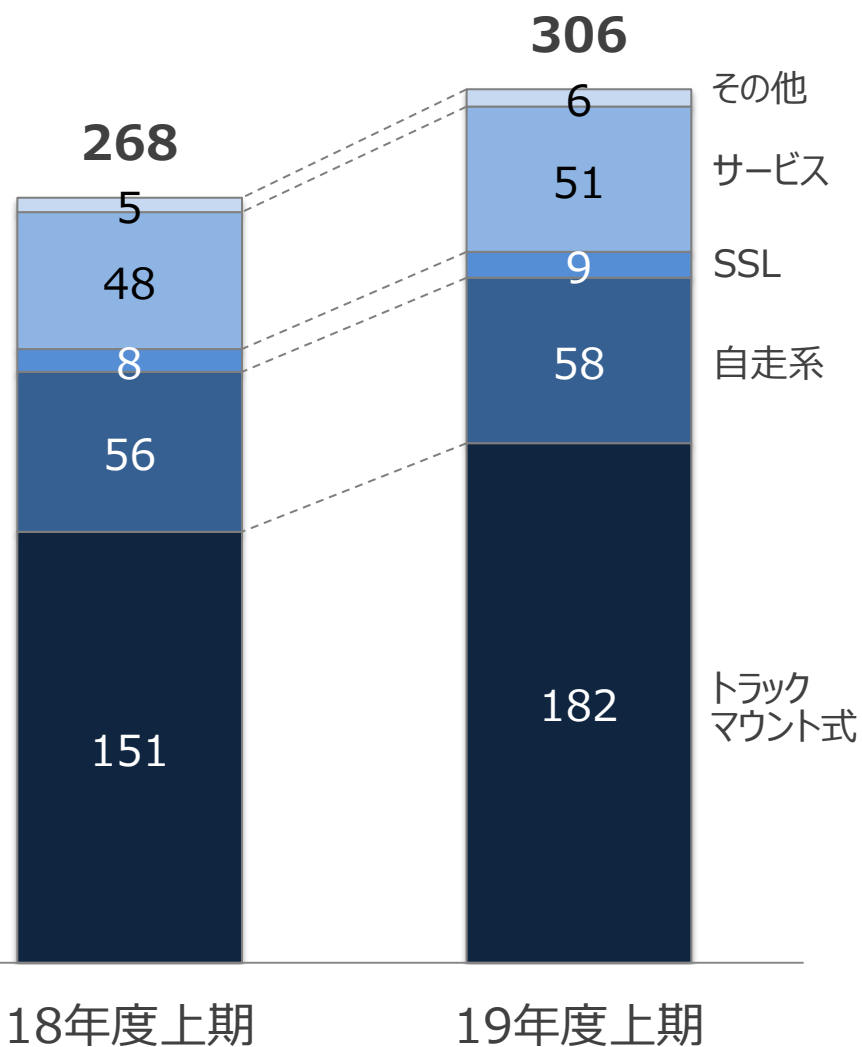
	18年度上期		19年度上期		増減率
	金額	%	金額	%	
売上高	[265.0] 268.4	[100.0%] 100.0%	[290.0] 305.6	[100.0%] 100.0%	13.9%
営業利益	[20.0] 22.0	[7.5%] 8.2%	[26.0] 32.1	[9.0%] 10.5%	46.1%
経常利益	[21.0] 23.8	[7.9%] 8.9%	[27.0] 34.6	[9.3%] 11.3%	45.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	[15.0] 17.0	[5.7%] 6.3%	[19.0] 24.2	[6.6%] 7.9%	42.1%
1株当たり配当金	中間	11円	中間	11円	
為替レート (USD)		110.1円		109円	
設備投資額		5億円		8億円	※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。
減価償却費		10億円		9億円	

[]内は2019年6月公表値

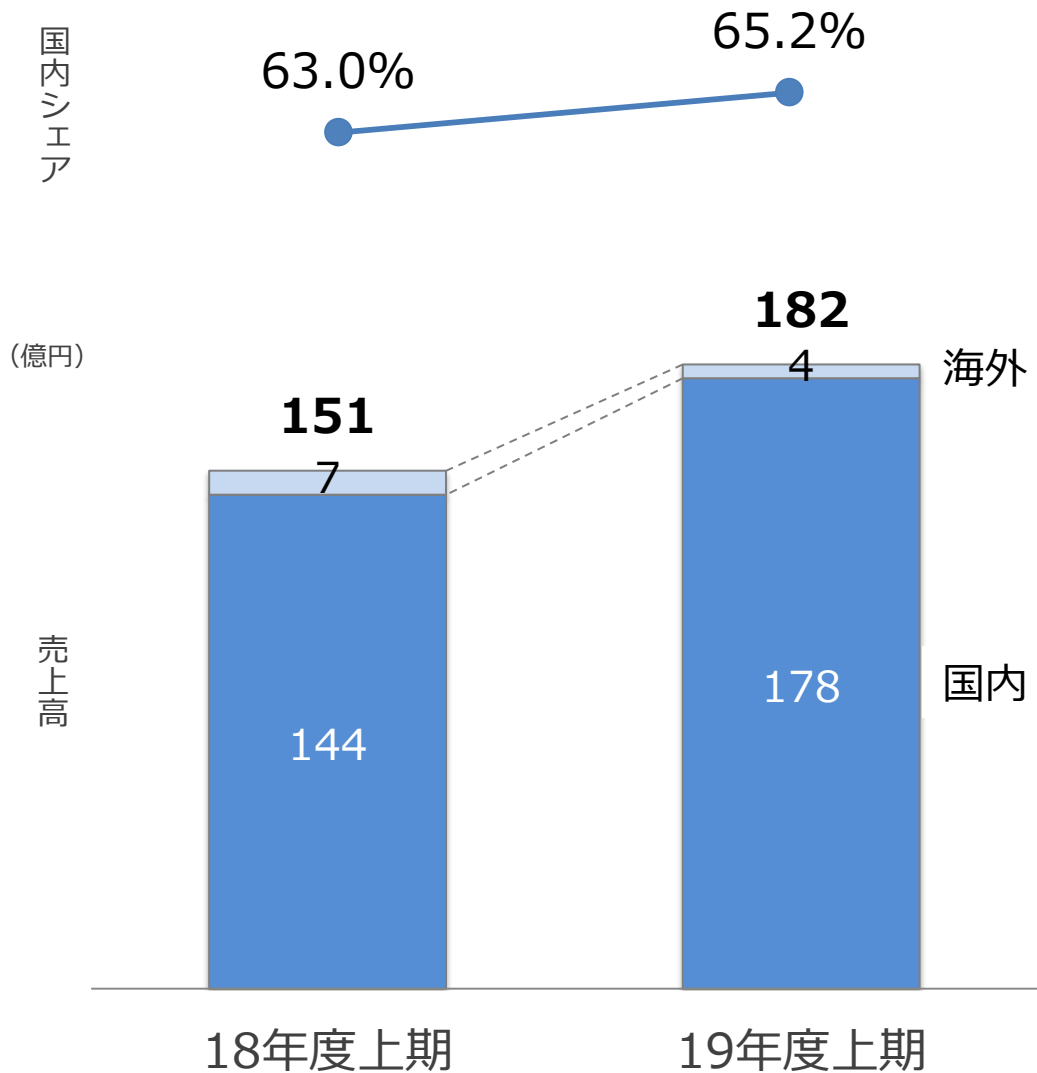
セグメント別売上高

(億円)

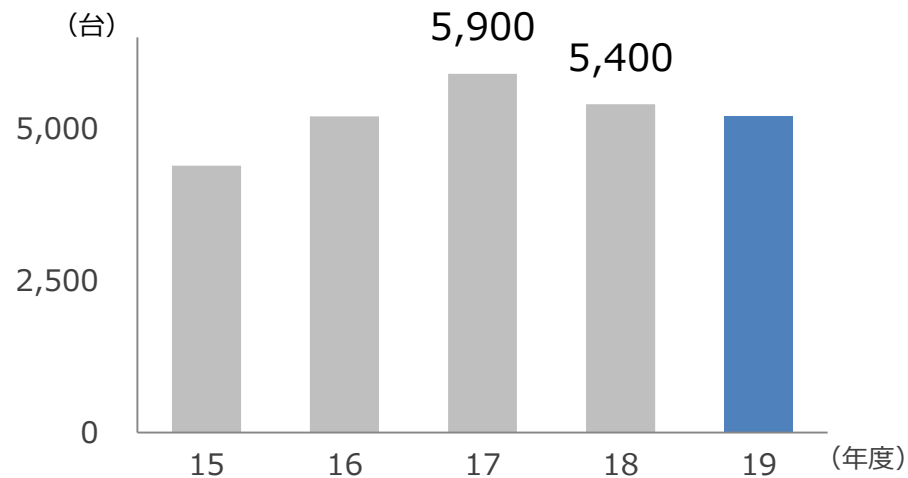
(単位：億円)



	18年度上期		19年度上期		増減額
	金額	%	金額	%	
トラックマウント式	151	56.3%	182	59.5%	31
内) 海外	7	2.6%	4	1.3%	▲ 3
自走系	56	20.9%	58	18.9%	2
内) 海外	7	2.6%	4	1.3%	▲ 3
SSL	8	3.0%	9	2.9%	1
サービス	48	17.9%	51	16.7%	3
内) 海外	2	0.7%	2	0.7%	0
その他	5	1.9%	6	2.0%	1
内) 海外	1	0.4%	2	0.7%	1
合計	268	100%	306	100%	38
内) 海外	17	6.3%	12	4.0%	▲ 5



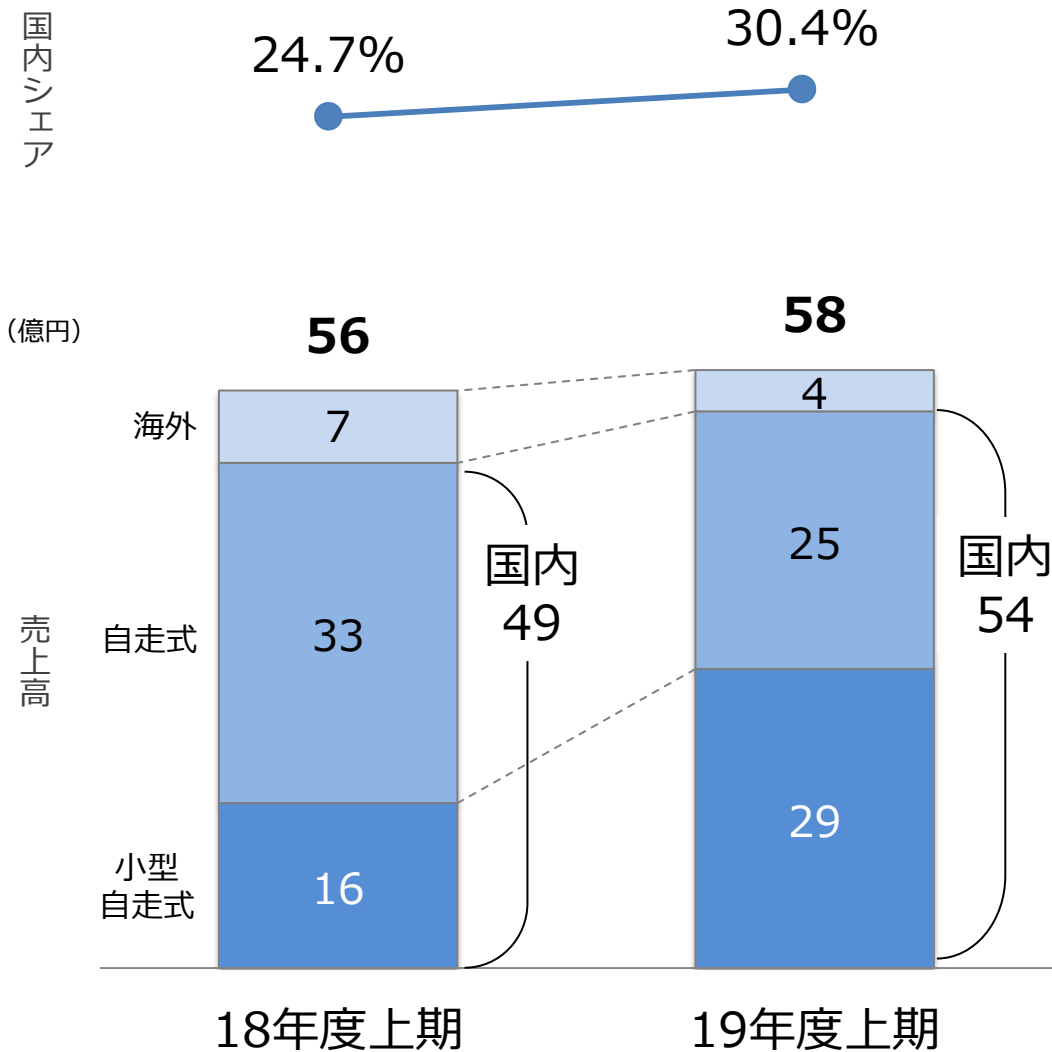
国内総需要推移



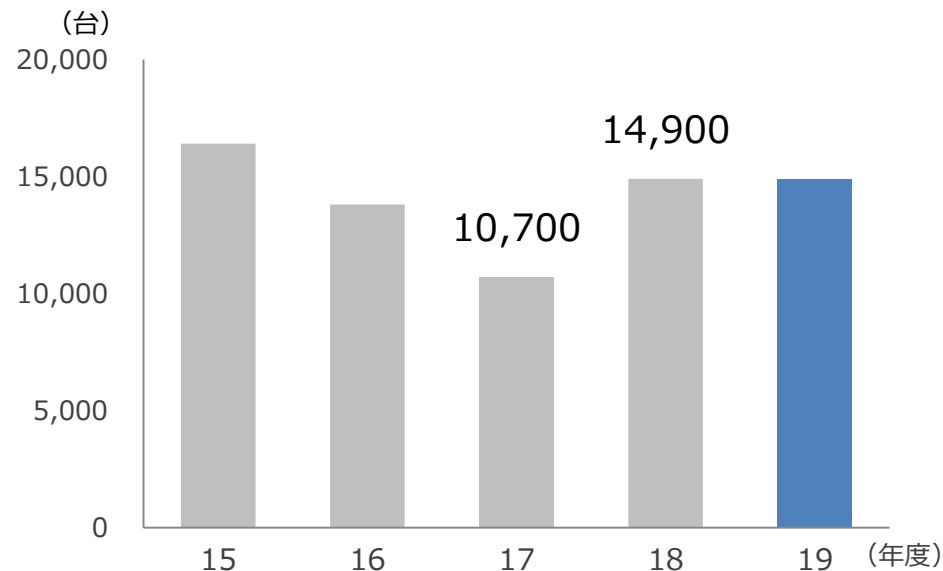
業界別販売台数・比率

(単位：台)

業界	18年度上期		19年度上期	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	740	46%	1,240	61%
電力	290	18%	240	12%
汎機	190	12%	110	5%
通信	340	21%	420	21%
鉄道	2	0%	8	0%
海外	40	3%	30	1%
合計	1,602	100%	2,048	100%



国内総需要推移



業界別販売台数・比率

(単位: 台)

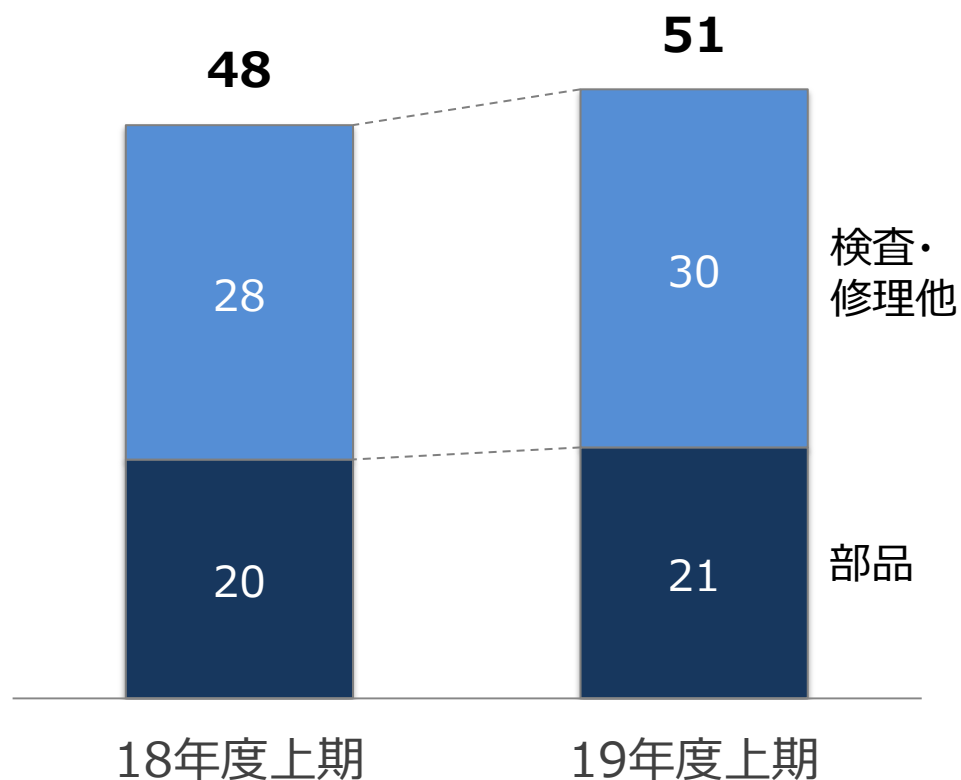
業界	18年度上期		19年度上期	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	1,470	71%	2,220	85%
汎機	90	4%	140	5%
海外	510	25%	270	10%
合計	2,070	100%	2,630	100%

■ 売上区分別比率

(単位：億円)

売上区分	18年度上期		19年度上期	
	売上高	比率	売上高	比率
検査・修理他	28	58%	30	59%
部品	20	42%	21	41%
合計	48	100%	51	100%

(億円)



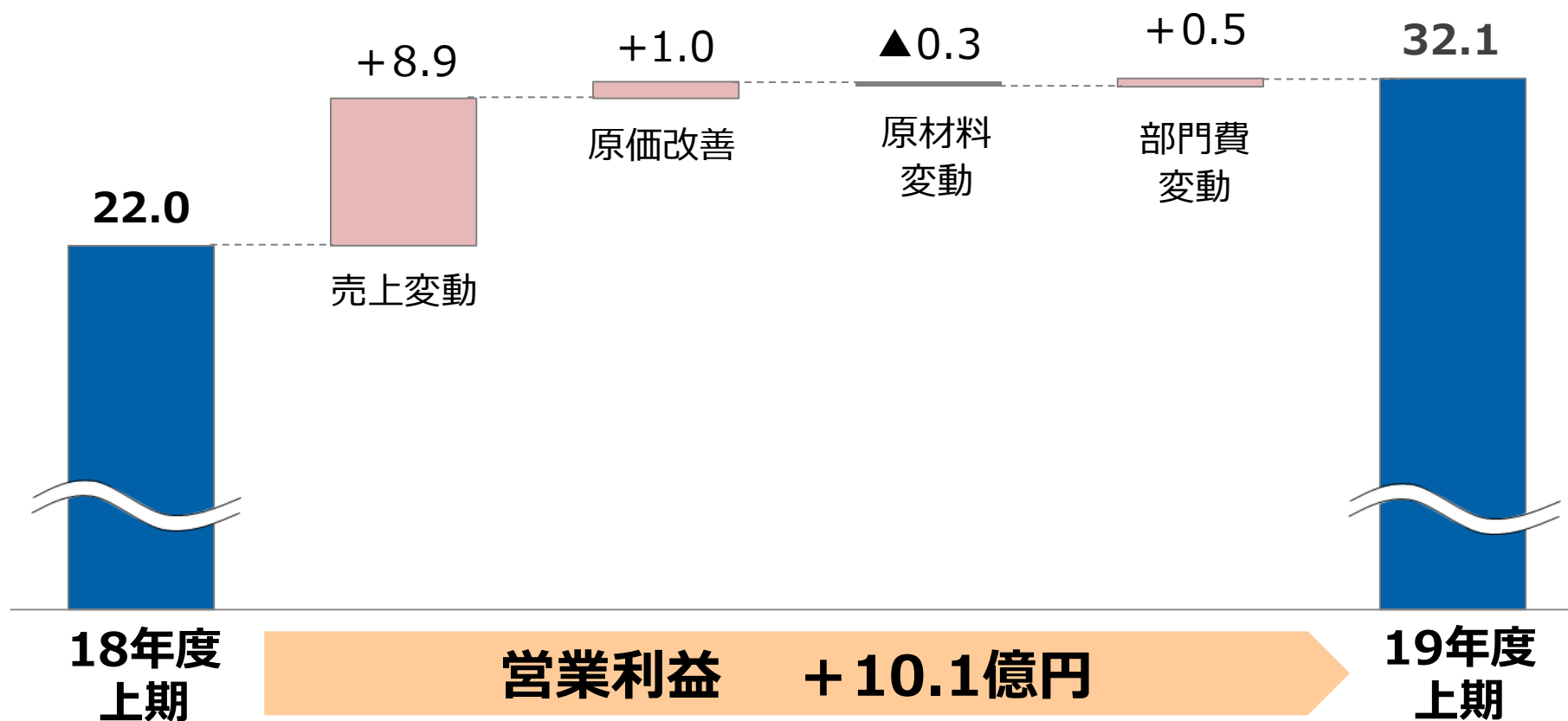
■ 対前年同期比較

(単位：億円)

	18年度上期		19年度上期		増減額
	金額	%	金額	%	
売上高	268.4	100.0%	305.6	100.0%	37.2
売上原価	211.9	78.9%	241.1	78.9%	29.2
売上総利益	56.4	21.0%	64.5	21.1%	8.1
販売管理費及び 一般管理費	34.4	12.8%	32.4	10.6%	▲ 2.0
営業利益	22.0	8.2%	32.1	10.5%	10.1
営業外収益	1.8	0.7%	2.9	0.9%	1.1
営業外費用	0.0	0.0%	0.4	0.1%	0.4
経常利益	23.8	8.9%	34.6	11.3%	10.8
特別損益	▲ 0.1	0.0%	0.1	0.0%	0.2
法人税等	6.7	2.5%	10.5	3.4%	3.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	17.0	6.3%	24.2	7.9%	7.2

■ 連結営業利益の増減要因

(単位：億円)



■ 対前年同期比較

(単位：億円)

		18年度上期末		19年度上期末		増減額
		残高	比率	残高	比率	
資産 の 部	現金及び預金、預け金	262	32.8%	310	36.7%	48
	売上債権	180	22.5%	199	23.5%	19
	その他	42	5.3%	41	4.9%	▲ 1
	流動資産	484	60.6%	550	65.1%	66
	固定資産	315	39.4%	295	34.9%	▲ 20
	合計	799	100.0%	845	100.0%	46
負債 ・ 純 資 産 の 部	仕入債務	82	10.2%	88	10.5%	6
	その他	39	4.9%	45	5.3%	6
	流動負債	121	15.1%	133	15.8%	12
	固定負債	50	6.3%	45	5.3%	▲ 5
	負債 合計	171	21.4%	178	21.1%	7
	純資産 合計	628	78.6%	667	78.9%	39
	合計	799	100.0%	845	100.0%	46

19年度の業績見通し



■ 対前年同期比較

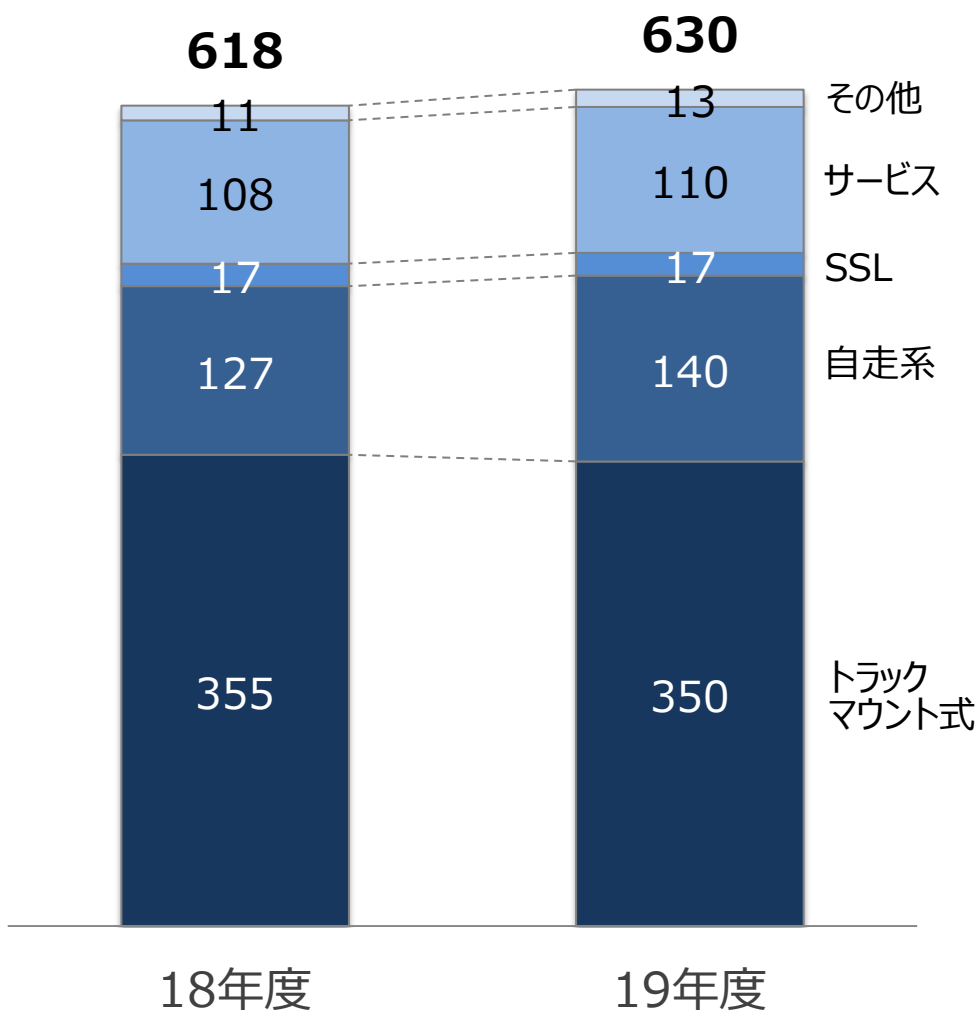
(単位：億円)

	18年度		19年度		増減率
	金額	%	金額	%	
売上高	618.4	100.0%	630.0	100.0%	1.9%
営業利益	70.0	11.3%	73.0	11.6%	4.3%
経常利益	73.9	12.0%	75.0	11.9%	1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	55.3	8.9%	53.0	8.4%	▲4.1%
1株当たり配当金	中間	11円	中間	11円	
	期末	11円	期末(予想)	11円	
	年間	22円	年間(予想)	22円	
為替レート (USD)	110.7円		107円		
設備投資額	11億円		20億円		※設備投資額にはリース資産分を含んでおります。
減価償却費	19億円		19億円		

19年度の業績見通し

■セグメント別売上高

(億円)

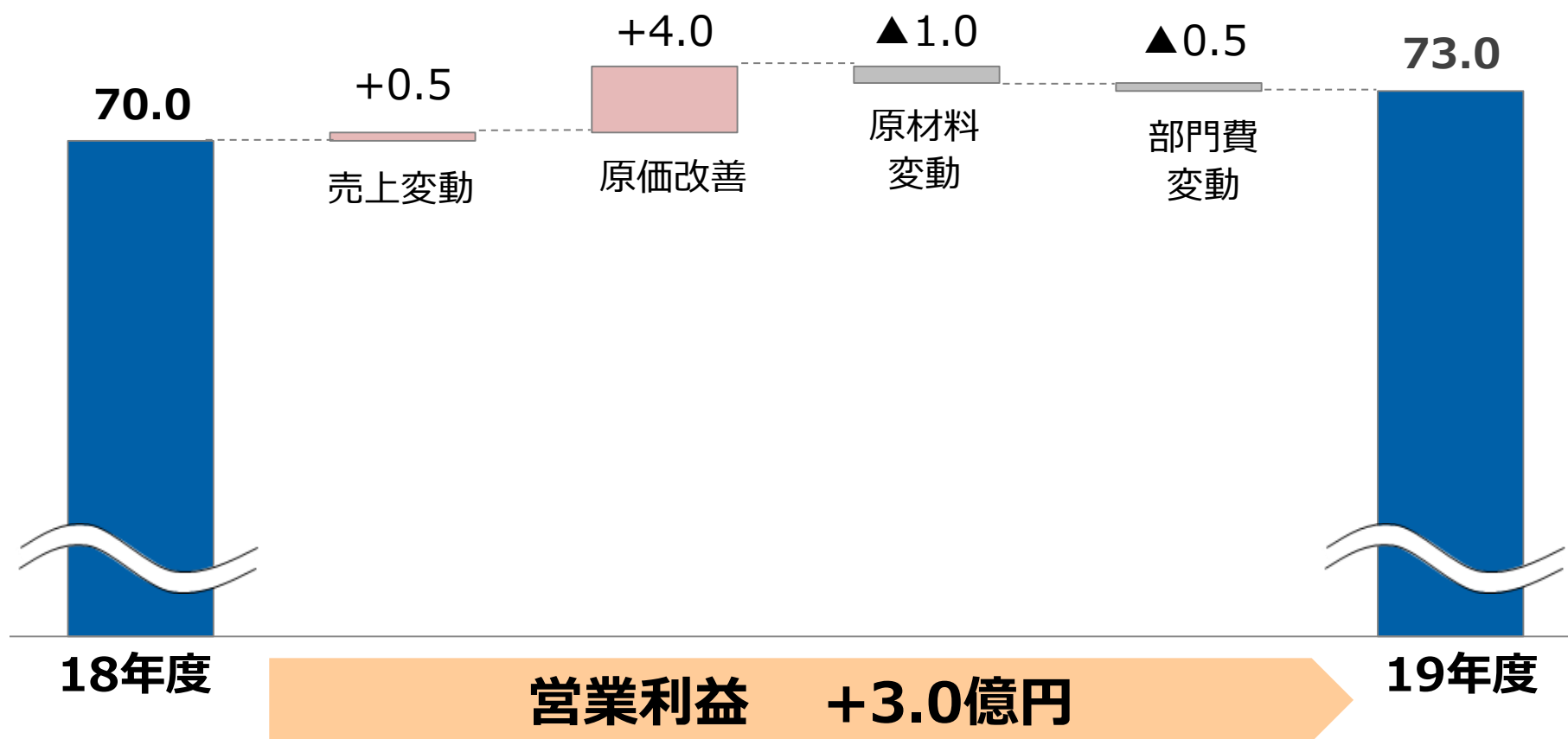


(単位：億円)

	18年度		19年度		増減額
	金額	%	金額	%	
トラックマウント式	355	57.4%	350	55.6%	▲ 5
内) 海外	17	2.8%	14	2.2%	▲ 3
自走系	127	20.5%	140	22.2%	13
内) 海外	19	3.1%	26	4.1%	7
SSL	17	2.8%	17	2.7%	0
サービス	108	17.5%	110	17.4%	2
内) 海外	4	0.6%	4	0.6%	0
その他	11	1.8%	13	2.1%	2
内) 海外	4	0.6%	6	1.0%	2
合計	618	100%	630	100%	12
内) 海外	44	7.1%	50	7.9%	6

■ 連結営業利益の増減要因

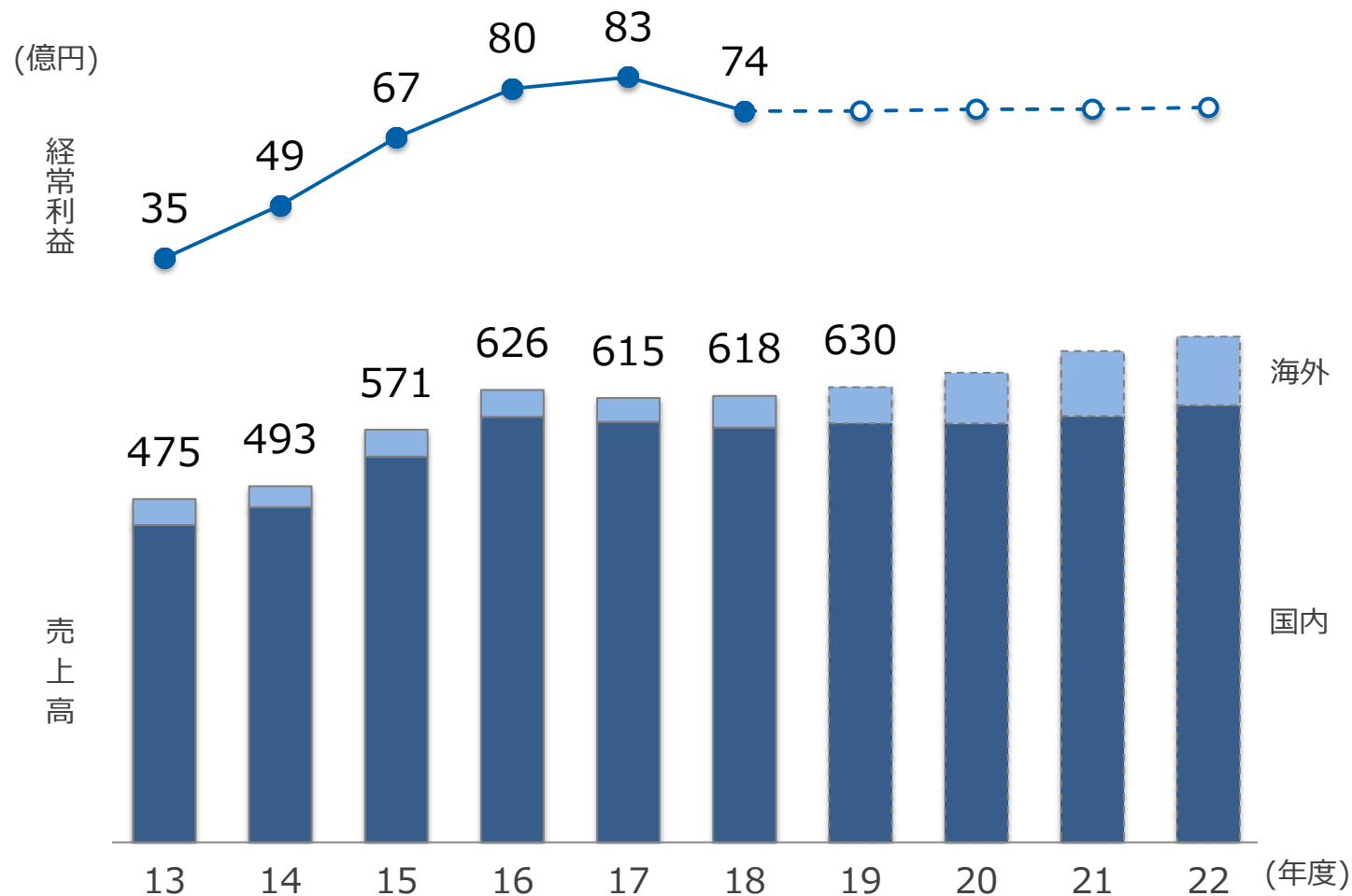
(単位：億円)



- I. 会社概要
- II. 決算
 - 1. 19年度第2四半期の業績
 - 2. 19年度の業績見通し
- III. 中期経営計画
 - 1. めざす姿
 - 2. 中期経営計画達成に向けた取り組み

めざす姿

世界市場での高所作業車メーカーとしての確固たる地位の確立



2018年

2022年

2025年

新規投資事業

[技術提携・M&Aを視野に入れた事業展開]

新市場への参入
高所作業に付随した商品開発

グローバル展開

[地域別戦略]

商品ラインナップ充実、トヨタL&Fとのシナジー

コア領域

[他社との差別化]

国内市場での売上維持

アジア市場での売上拡大



安全性と生産性を追求した 配電工事向け15m級高所作業車を発売

<商品の特長>

- 無段階アウトリガーを実現
- 車両前方の作業範囲拡大
- マルチインフォメーションディスプレイ採用
- ノーテールブームを実現

◆ 電設工業展2019に出展

- ・開催日時：2019年5月22日～24日
- ・開催場所：東京ビッグサイト
- ・主催：一般社団法人日本電設工業協会
- ・来場者：約10万人

SH15C1FS



SN15C1FS



鉄道業界向け新商品LK17Mを発売



- 新型シャシ対応の狭軌・標準軌両用
新幹線、在来線の電気設備メンテナンスに効果を発揮
- SMILシステムにより、
機械の「安全管理」「効率運用」の最適化に貢献

◆ 第6回 鉄道技術展

- ・開催日時：2019年11月27～29日
- ・開催場所：幕張メッセ
- ・主催：フジサンケイ ビジネスアイ
- ・出展社数：550社

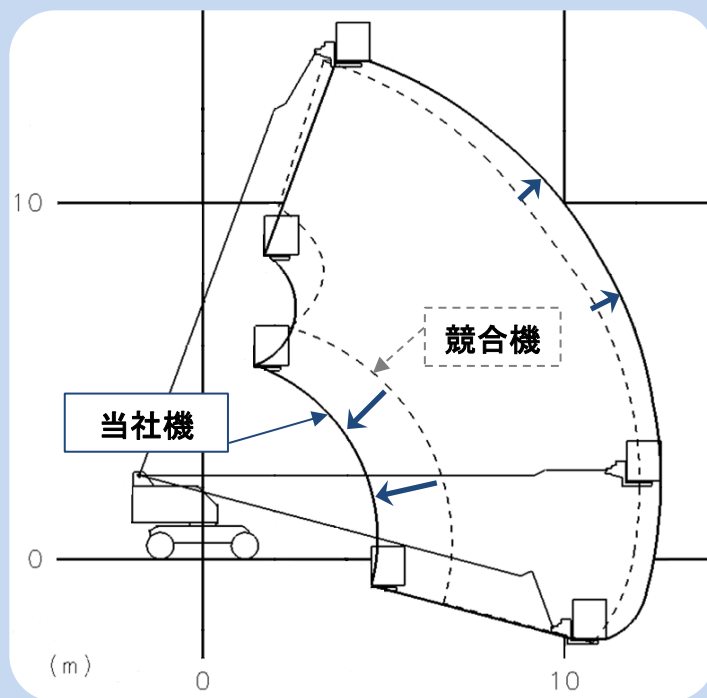


作業機械の作動情報管理・提供・分析システム

欧州市場向けに 12m/14m級 自走式高所作業車を投入

<商品の特長>

- 14mクラスで唯一の3段伸縮ブーム
 - ⇒ 車体のコンパクト化
 - ⇒ 広い作業範囲の実現（作業範囲を拡大）



この配布資料に記述されている、弊社の予想、見通しは、現在入手可能な情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。

従って、この業績予想に全面的に依拠することはお控え頂きたく、お願い申し上げます。

また、これらの数字に関しては、様々なリスクや不確実性により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

ここでのリスクや不確実性とは、弊社を取り巻く経済情勢、お客様環境、競合環境、関連法律・法規、為替レートの変動などが含まれます。

ただし、業績に与え得る要因はこれに限定されるものではありません。